



たまな 市議会だより

平成28年
6月定例会
平成28年8月1日発行
NO.43

熊本地震で崩壊した天水地区
北横内の石垣
(地震発生直後)



(復旧後)



被災した天水体育館
(現在修繕のため調査中)



7月17日に行なわれた消防団訓練大会
今回の熊本地震でも多くの消防団員が地域のために尽力した

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| ●定例会報告…………… P2～P4 | ●臨時会報告…………… P10 |
| ●委員会報告…………… P5～P6 | ●市民の声「活動を通して思うこと」…………… P12 |
| ●ここが聞きたい!一般質問 6名登壇…………… P7～P9 | |



玉名市マスコット
「タマにゃん」

一般会計補正予算、 災害復旧費を含む3億4千73万円決定。

6月定例会

平成28年第3回定例会は地震対応業務に従事する職員へ配慮し、通常より短縮した会期日程に対し、賛否があったが、採決の結果、一般質問の日程を1日のみとし、6月9日から27日まで開催した。平成28年度一般会計補正予算、条例、人事その他21議案、また継続審査としていた専決処分事項等もあわせて審議し、議案は全て可決した。請願4件のうち3件は採択し、1件を継続審査とした。陳情1件については不採択とした。また、意見書案2件は可決した。

一般会計補正予算の主なものは

◎総合体育館アリーナの柱補修

◎玉南中学校の改修工事

など原案どおり可決した。

その他の特別会計・企業会計補正予算議案についてもすべて可決した。

条例案・人事案については全件可決した。

その他、請願・陳情

◎玉水小学校の存続・発展に関する請願は採択した。

◎玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願は継続審査とした。

◎市民会館建設位置の変更と市民広場公園の存続を求める陳情は不採択とした。

◎継続案件のATワンペダル整備費補助金制度の復活を求める請願は採択した。

主な討論

会期日程についての討論 【賛成可決】

原案賛成

吉田きとく議員

今は、震災のため、非常事態であり、職員は毎晩遅くまで、その対応に追われている。それを考慮して、議会運営委員会で決まった日程を尊重すべき。

原案賛成

横手良弘議員

職員も震災以降通常の業務に加え震災対応の業務が加わり、非常に業務が過密になっている。議員は全員協議会で、職員から報告を受け、質問や意見も出している。議運で慎重に審議した日程であり、尊重してほしい。

原案反対

近松恵美子議員

職員の多忙を理由に一般質問の日程を減らすということだが、日常業務は粛々と進んでおり、それに対して議員の質問を制限するのは、議員としての責務を議員みずから放棄することである。

原案反対

前田正治議員

一般質問の制限は市政活性化にならない。言論の府である議会の自殺行為だ。議論を通じて防災対策を充実強化することこそ市民が望む議会の役割。希望者全員に質問させることを求める。

原案反対

内田靖信議員

熊本地震の執行部の多忙感などを考慮し、定例会の会期を短縮し一般質問を制限することは、市民の生命、暮らしを守るべく災害対策の議論を行なう市議会の第一義的責務を放棄することとなる。



請第2号 ATワンペダル整備費補助金制度の復活を求める請願についての討論 【採択】**原案賛成**

近松恵美子議員

アクセルとブレーキが一つになっているこのペダルは、踏み間違い防止に非常に役立つものである。報道されている多くの事故はアクセルとブレーキの踏み間違いによるものであることが多い。高齢社会にとって欠かせないものであり、昨今は市の宣伝不足から装着者が少ないが、世界的にも注目されているものでもあるので、市として応援すべきと考える。

原案賛成

徳村登志郎議員

踏み間違い事故を防止、解決する手段として、アクセルとブレーキを一体化した「ワンペダル」は、玉名の町工場が利益を投げ打って開発した画期的な技術である。これを市としても支援していくべきであり、本請願の採択を紹介議員として望むものである。

陳第6号 市民会館建設位置の変更と市民広場公園の存続を求める陳情についての討論 【不採択】**原案賛成**

江田計司議員

市民会館の建設場所については見直しを求める意見が多く多くの市民から聞かれる。熊本地震で防災拠点などについても市民広場公園の重要性が問われたが、いろいろな面で玉名市では検討はされたのか。市長がいつも言われている、市民一人一人の思いが通じる市民のための市政、果たして市民の目線であったのか。この地震は天が与えた警告ではないか。玉名市議会も自然の警告を無視せずにこの教訓を生かすべきではないか。

原案賛成

前田正治議員

熊本地震では地震の恐ろしさを痛感した。経験がない大きな揺れで、市民一人一人が命や財産をいかに守るかを考える機会になった。行政も防災計画見直しを迫られると思う。市民会館建設は予算も執行しているが、熊本地震の経験を踏まえて提出された陳情文にある「この空間の重要性に鑑み、市は早急に今回の事案を精査・検証の上、市民会館建設位置を見直すべき」ことに全面的に賛成。

原案反対

田中英雄議員

現市民会館は老朽化しており、一刻も早く耐震・避難所機能も再検討した上で建てかえるべきである。現行計画の場所なら、市職員駐車場・市役所駐車場が近くなり、機能性は高まる。旧市民会館跡地には駐車場と広場の整備も予定されており、周辺施設全体として考えれば、防災面でも充実することになる。

原案賛成

城戸 淳議員

今回の熊本地震による避難所になった福祉センターと市民広場公園に自主避難者、避難車両が多数詰めかけた。この状況から見て、福祉センターと市民広場公園が一体となり、防災拠点の機能が発揮されたと思う。また、市民広場公園の空間は重要かつ必要であり、防災機能としての整備を行ない、存続すべきである。

議第51号 専決処分事項の承認について 専決第6号 玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての討論 【原案可決】**原案反対**

前田正治議員

今回の改正は医療分が2万円、支援分が2万円、合計4万円の増税。賦課限度額引き上げは5割、2割軽減世帯の軽減判定所得も引き上がる。低所得者の救済を言うならば低所得者対策として国が打ち出した年間1千7百億円、国は一人当たり5千円引き下げる効果があると言う。市民のために活用すべきである。国民健康保険税の最高額が85万円から89万円になる増税に反対する。

平成28年第3回定例会 議案の審議結果

■全会一致で承認、可決した議案

議番号	議 案 名	議番号	議 案 名
議第48号	専決処分事項の承認について 専決第3号 平成27年度玉名市一般会計補正予算(第7号)	議第64号	玉名市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第49号	専決処分事項の承認について 専決第4号 玉名市税条例等の一部を改正する条例の制定について	議第65号	玉名市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第50号	専決処分事項の承認について 専決第5号 玉名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	議第66号	玉名市景観条例の一部を改正する条例の制定について
議第52号	専決処分事項の承認について 専決第8号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第1号)	議第67号	玉名市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
議第53号	専決処分事項の承認について 専決第9号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第2号)	議第68号	玉名市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について
議第56号	平成28年度玉名市一般会計補正予算(第3号)	議第69号	第2次玉名市総合計画基本構想の策定について
議第57号	平成28年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第70号	玉東町との定住自立圏形成協定の締結について
議第58号	平成28年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第71号	和水町との定住自立圏形成協定の締結について
議第59号	平成28年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	議第72号	南関町との定住自立圏形成協定の締結について
議第60号	平成28年度玉名市九州新幹線湯水等被害対策事業特別会計補正予算(第1号)	議第73号	市道路線の認定について
議第61号	平成28年度玉名市水道事業会計補正予算(第1号)	議第74号	財産の取得について
議第62号	平成28年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	議第75号	財産の取得について
議第63号	平成28年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	議第76号	人権擁護委員候補者の推薦について
		意見書案第5号	平成28年熊本地震における財政支援及び合併特例債の期限の見直しを求める意見書の提出について
		意見書案第6号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書の提出について

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議 案		北本将幸(無会派)	多田隈啓二(無会派)	松本憲二(自友)	徳村登志郎(公明党)	城戸 淳(新生)	西川裕文(新生)	嶋村 徹(市民)	内田靖信(自友)	江田計司(無会派)	田中英雄(市民)	横手良弘(市民)	近松恵美子(無会派)	福嶋譲治(無会派)	宮田知美(市民)	前田正治(共産党)	作本幸男(新生)	森川和博(第2市民)	高村四郎(自友)	中尾嘉男(無会派)	田畑ひさよし(第2市民)	小屋野幸隆(第2市民)	竹下幸治(市民)	吉田きとく(第2市民)	永野忠弘(自友)	議決結果
議第51号	専決処分事項の承認について 専決第6号 玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛21、反2)

※市民ク…市民クラブ／新生ク…新生クラブ／自友ク…自友クラブ／第2市民ク…第2市民クラブ／無会派…無会派

請願・陳情 審議結果

	件 名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第2号	A Tワンペダル整備費補助金制度の復活を求める請願	総務委員会	不採択 (賛成少数)	採択 (賛成多数)
請第3号	玉名市立玉水小学校の存続・発展に関する請願	文教厚生委員会	採択 (全員一致)	採択 (全会一致)
請第4号	青野本村の赤川水系における水田の構造改善事業を求める請願	建設経済委員会	採択 (全員一致)	採択 (全会一致)
請第5号	玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願	文教厚生委員会	継続審査 (全員一致)	継続審査 (全会一致)
陳第6号	市民会館建設位置の変更と市民広場公園の存続を求める陳情	総務委員会	不採択 (賛成なし)	不採択 (賛成少数)

人 事

人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。(敬称略)

★人権擁護委員候補者

きのした こ
・木下 すみ子(玉名地区)

定住自立に向けた連携協定

総務

平成28年6月10日午前10時から開催

■予算4件・条例2件・その他
6件・陳情1件・請願1件

■主な審査項目

・28年度一般会計補正予算
・第2次玉名市総合計画基本構
想の策定

・玉東町との定住自立圏形成協
定の締結

・和水町との定住自立圏形成協
定の締結

・南関町との定住自立圏形成協
定の締結

・財産の取得

■主な質問と回答

Q、軽自動車税の改正に伴い、

軽自動車に環境性能割りが
創設され、乗り換えが増え
るとなると、その税額は増
えているのか。

A、平成27年度と28年度の調定
額の比較で3千636万7千
200円増加を見込んでい
る。

Q、定住自立圏形成協定で、締

結すると財政措置があるの
か、市民にどんな利点があ
るのか。

A、協定に伴う事業において、
本市に、年に8千500万
円を上限に、町には、1千
500万円を上限に財源措

置がある。また、定住自立

圏の協定を結ぶことで、相
互に利益を生むよう圏域と
しての定住化等を見据え、
今後策定するビジョンの中
で進める。

Q、玉名市総合計画において、

区の戸数の差が大きいとい
ろがあるが、統廃合などの
見直しは計画に反映されて
いるか。

A、計画書に掲載したことはな
く、今後策定審議会などで
意見があれば、慎重に審議
していく。

■陳情

市民会館建設位置の変更と市
民広場の存続を求める陳情は、
もう一度見直す問題であり賛成
との意見と、安心して避難でき
る場所をさらに広めるために反
対との意見や継続審査の意見が
あり、採決の結果、不採択すべ
きものとした。

■請願

ATワンペダル整備費補助金
制度復活を求める請願は、最近
は自動ブレーキシステムもある
が、高齢者には便利との感想を
聞き継続審査の意見もあったが、
不採択すべきものとした。(本会
議において採択)

建設経済

平成28年6月13日午前10時から開催

補助事業採択に向け、ポイント獲得策を検討すべき

■予算9件・条例1件・その他
1件・請願1件

■主な審査項目

・28年度一般会計補正予算
・景観条例の一部を改正する条
例

・青野本村の赤川水系における
水田の構造改善事業を求める
請願

■主な質問と回答

Q、担い手確保・経営強化支援

事業補助金における地区の
ポイント数は、採択される
ようなポイントの取り方な
どを検討すべきだ。

A、最も高いポイントだったの
は玉名地区の6・63ポイン
トで、採択されるには8・
5ポイント以上必要だった。

Q、農地小規模災害復旧事業補
助金の申請状況は。

A、これは、熊本地震により被
災した農地の復旧に対して、
対象の2分の1、上限20万
円の補助を行なうもので、
現時点で受付が5件、相談
が10件くらいある。農地液
状化に関する説明会には40
名ほどの出席があった。申請
が多くて足りない場合には、
また追加をお願いしたい。

Q、地震で被害を受けた用水路
等の復旧状況は。

A、用排水路のひび割れなど被
害の小さいものは、田植えを
前にほとんど終わっている。

Q、商店街空き地空き店舗対策
事業に関して、先日の商工

会議所の調査後の状況は。

A、調査結果は、空き店舗が6
件、空き地が8件あると聞
いている。新聞や玉名市・
商工会議所のホームページ
に情報を掲載しているが、
借りたいとの申し出はまだ
ない。

Q、市町村設置型浄化槽の普及
方法はどう考えているか。

A、普及促進に取り組んではい
るものの、個人の費用負担
があるので、住宅新築など
がないとなかなか厳しい面
がある。

■請願

青野本村の赤川水系における
水田の構造改善事業を求める請
願については、願意妥当であり、
採択すべきものとした。

※その他、熊本地震の対応につ
いて質疑を行なった。

熊本地震による被災者支援と被災施設の早急な復旧復興を！

文教厚生

平成28年6月14日午前10時から開催

■予算5件・条例5件・請願2件

■主な審査項目

- ・28年度一般会計補正予算
- ・28年度国民健康保険事業特別会計補正予算
- ・28年度介護保険事業特別会計補正予算
- ・玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

■主な質問と回答

Q、熊本地震で小中学校の被害は。体育館はどうか。

A、公立小中学校はすべて耐震補強を完了している。体育館の壁の一部ひび割れやモルタルの剥離が複数箇所見られたため、原因を調査し修理を依頼している。

Q、保育士の処遇改善により、保育士不足による待機児童は解消できたのか。

A、待機児童解消のため保育士の処遇を改善し保育士の増員に努めているが、待機児童の解消には至っていない。現在も保育士を募集している。

Q、国保税条例の一部改正で税

収はどのようになるのか。

A、年税額の課税限度額が85万円から89万円に引き上げられることで約1千500万円の増収。また、軽減判定所得が引き上げられることにより、約200万円の減収となり総額約1千300万円の増収となる見込み。

Q、被災した玉名市総合体育館アリーナの使用開始時期は。

A、現在のところ、12月に使用開始予定だが、調査の結果次第では、早まる可能性がある。

Q、災害見舞金の支給額と見込数は。

A、全壊の場合3万円支給で14件、大規模半壊・半壊の場合が2万円支給で118件を見込み。現在、全壊9件、大規模半壊8件、半壊45件は判定が確定済み。

■請願

玉水小学校の存続・発展に関する請願は全員一致で採択すべきものとし、玉名第1保育所の一刻も早い建てかえを求める請願は、場所を熟考すべきことから継続審査とした。

熊本地震による議会日程の変更

通常、議会の日程は、議案の採決を最終日に行なっている。しかし、今期の議会は、熊本地震への対応を考慮し、災害復旧を早急に行なえるように、採決を早めて、一般質問を最終日に行なった。

市民からも重大な関心と期待をもたれる議員活動の場である一般質問については、議員は市民の代弁者として通常通り行なうべきであるとの意見。通常業務に加わえ災害対応業務も行なう職員の負担を軽減するため、今回は行なわないとの意見。採決の結果、通常3日間行なう一般質問を1日限りとし、議会会期を短縮し、議会が復旧活動の後押しをすることとした。各会派から1名を選出、会派に属さない議員については2名を抽選し、計6名が一般質問を行なった。今期の会期日程は下記のとおり行なわれた。



▲早急な復旧工事を7月に行なった勤労者体育センター

27日	20日	14日	13日	10日	9日	6月2日
月曜日	月曜日	火曜日	月曜日	金曜日	木曜日	木曜日
一般質問 定例会閉会	採決	文教厚生委員会	建設経済委員会	総務委員会	定例会開会	議会運営委員会

6月定例会日程



徳村 登志郎
(公明党)

胃がん予防のためのピロリ菌検査の導入とその費用助成について

議員 本市の胃がん検診の状況について。ピロリ菌検査の定期健診への導入について。

健康福祉部長 平成28年の胃がん検診は、2千856人の受診があり、受診率は11・3%。胃がんは、7人発見された。ピロリ菌検査は、国のがん検診指針にないため、国の動向に注視し、先進地の自治体を参考に関係機関と協議、検討していきたい。

議員 バリウム検査から胃内視鏡検査への移行を問う。

健康福祉部長 平成28年2月に国から胃がん検診の新指針が出され、胃内視鏡検査の導入を検討しているが、現状では、集団検診で実施可能な体制でなく、これからの検討課題としている。

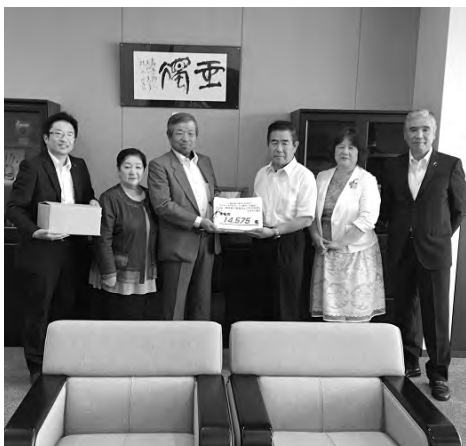
議員 本市の中学3年生へのピロリ菌検査導入について。

健康福祉部長 佐賀県は全国的にも胃がん死亡率が高いため、予防の観点か

ら全国に先駆けて中学3年生に検査を導入されたと思われる。一方、熊本県は胃がんによる死亡率は、低い状況である。今後は先進地の取り組み状況などを参考に検討していきたいと思う。

議員 「ピロリ菌検査の実施およびその助成」を求める署名1万4千575名を受けての市長の感想・方針等を問う。

市長 ピロリ菌検査は、予防医療の見地から極めて重要な趣旨と考え、署名をされた皆さまの関心の高さと健診への期待の強さを感じた。佐賀県では、中学生を対象に取り組まれており、若い世代の除菌は、胃がん予防効果が高いと言われており、検査費用助成も含め関係機関と協議し、前向きに検討する。



▲「ピロリ菌検査の実施およびその助成」を求める署名を市長へ

熊本地震の対応について



城戸 淳
(新生クラブ)

議員 今回、前例のない事態、前例のない対応を市職員は経験されたかと思うが、震災発生後の初動態勢はどうだったのか。

総務部長 本市では、4月14日、16日の2度にわたり、震度6弱の揺れを観測。4月14日の震災直後に市長を本部長とする災害対策本部を速やかに設置。本部会議では、被害情報の収集・伝達、避難所開設の決定を直ちに行なうなど、迅速な対応ができたと考えている。

議員 地震発生後、市内40所の避難所が早急に開設された。避難所運営については。

総務部長 本震である4月16日は、津波注意報の発令も相まって、大勢の市民の皆様が避難所に避難されて来ため、市内40カ所の避難所を早急に開設。本震当日は、3千125人の方が避難され、市職員175人、24時間体制にて、避難所の運営に当たった。

議員 複数の関係機関との協力体制については。また、地震により経済低迷が予測されるが今後の玉名市の姿をどう考えるのか市長の見解を問う。

市長 今回の地震によって、玉名市も含め、熊本県あるいは九州全体も痛手を被っており、一日も早い復旧を望むことが一番大事なことではないかと思っている。特に風評被害などがあり、観光面でも早く玉名に来ていただくような努力をしていかなければいけない。復興に対しても国を挙げてバックアップをしていただいている状況。私も熊本県の市長会の会長をしている関係上、状況もあり、熊本県を含めて、玉名市の復興のために、これからも精いっぱい頑張っていきたいと思っている。



▲自衛隊による給水活動の様子



田中 英雄
(市民クラブ)

JR在来線駅の 整備・増設を!!

議員 合併後、人口減少が重大問題であり、熊本市内へ楽に通勤通学ができるようにすべき。在来線各駅に屋根つき駐輪場・駐車場・防犯カメラの増設をして、駅利用者の利便性を高めてほしい。

企画経営部長 屋根つき駐輪場の設置については、大野下駅と肥後伊倉駅は必要性が低いと考えるが、玉名駅に関しては「ボウハンティア」からのご意見を拝聴しながら今後検討したいと考えている。また、防犯カメラについては、駐輪場が監視できる玉名駅や大野下駅は別として、肥後伊倉駅に関しては、管理者であるJR九州に対して働きかけを行いたい。

議員 玉名市から熊本市内へ通勤通学が便利になるように玉名駅と大野下駅・肥後伊倉駅の間に駅ができれば、専修大学付属玉名高校と玉名工業高校の学生の通学が便利になり、桃田運動

公園の利用者もふえると考えている。4月に新設された「熊本西駅」は、12億円の費用だ。高架駅でなければそこまでの費用は必要ないし、西鉄天神大牟田線の各駅間の距離は2キロメートルに満たない。新玉名駅の周辺も発展するだろうが、在来線の駅もつくれば必ず周辺は発展すると思うが。

企画経営部長 設置費用を全額負担する「請願駅」は、JR九州が利用者数などさまざまな面を検討した上で設置の可否を判断する。新駅設置で利便性が向上することは十分に考えられるが、現在まで市民からの直接的な要望はなく、周囲の環境からも多くの利用者が見込めるとの想定がしにくい上、多額の費用負担も伴うことから、その必要性は極めて低いと現時点で考えている。



▲理想とする「請願駅」付近の写真



松本 憲二
(自友クラブ)

熊本地震に対する検証

議員 熊本地震を受け災害対策の課題と今後の防災対策のあり方は。

総務部長 今回の震災をもとに、計画書どおりできなかった点や今後取り組むべき課題の整理検証を行ない、実効性のある防災計画書の策定に取り組み。備蓄については、国が示す人口5%の1日分を目標に、流通備蓄や家庭備蓄を推進し、防災体制の強化を行なう。

議員 瓦れき置き場が5月13日で閉鎖されたが、今後の瓦などの瓦れきに対する対応は。

市民生活部長 今回の熊本地震により被災された半壊以上の家屋については、国の補助制度を活用し災害復旧に対する支援が行なわれるが、一部損壊には国の補助制度がない。一部損壊家屋には、市の単独補助制度「被災住宅災害復旧事業補助金」を新設した。今後は、この補助制度の活用と併せて仮置き場の対応についても検討する。

議員 公立玉名中央病院南棟は耐震基準を満たしていない。地震を受け急な建てかえが必要と思うが対策は。

市長 今回の地震による病院機能への影響はなく診療も継続できているが、安全確認のため建物への影響について、現在、調査診断を行なっている。今回の地震を受け、このような未曾有の災害にも耐えうる病院を1日でも早く建てなければならぬ。今夏中に基本構想、基本計画を策定し、平成32年度開院に向けた取り組みを着実に進めたい。また、建設には莫大な費用がかかるため、県と連携し、国に対し熊本地震の復興支援措置の一環として公的病院の建設支援特別枠を設けていただくよう要望し、建設費の負担軽減に努めていく。



▲浄化センターに集められた災害瓦れき(488.43トン)



前田 正治
(共産党)

市民の生命・財産を守る 耐震リフォーム助成を

議員 一戸建て住宅の耐震改修が遅れている原因は何か。

建設部長 まずは玉名市の将来を担う子ども達が通う学校であり、防災上重要な避難所としての機能を持つ学校施設を最優先に取り組んできた。結果として、学校施設の耐震化率は100%を達成している。

議員 耐震診断相談窓口の設置、耐震診断・改修の助成制度の周知などどうするのか。

建設部長 国の補助制度を活用し、昭和56年5月31日以前の旧耐震で建築された戸建木造住宅で、診断・設計・改修費について、総額68万6千円を限度として助成する。なお、募集は7月の広報たまなに掲載する。

議員 耐震リフォームにおける市独自の融資制度創設を求める。

建設部長 融資については、独立行政法人「住宅金融支援機構」が耐震改修

工事に併せてリフォームも可能な低利な融資を実施している。内容は、融資限度額が1千万円、償還期間は20年以内、平成28年6月現在で、償還期間10年以内が年利0・75%、11年以内であれば年利1・0%と低利な融資制度がある。このことから、市独自の融資制度については、現時点では考えていない。また、利子補給についても、最近の低金利状況を踏まえ、市独自では考えていない。

議員 一戸建て住宅の耐震化の現状について市長の認識はどうか。

市長 個人住宅の耐震化の進捗は詳細にはわかっていないが、計画目標を達成していないのは事実であるので、重要性を考え、これからも啓発をしながら、個人住宅の耐震化に向けて努力していきたい。



▲住宅耐震化を定めた玉名市建築物耐震改修促進計画



田畑 ひさよし
(第2市民クラブ)

多種の災害に対する 防災体制は万全と言えるか

議員 平成23年6月議会、平成25年3月議会、平成27年3月議会で、布田川日奈久活断層による大地震が発生する可能性を指摘して万全の対策を立てるように指示したが、万全だったのか。

総務部長 過去に布田川日奈久断層帯による災害の備えを指摘されていたため、ある程度の準備を行なっていた。今後は、「人口5%の1日分」の備蓄を目標に整備を行なう。また、公共施設避難所の耐震強度の調査結果を精査し、安全性の確保に努め、適正な避難所利用を行ない、市民の生命財産を守るための災害対応に努める。

議員 行財政改革・行政区の統廃合はどう考えているか。行政区の一部から合併の意向があり、行政的指導が必要と思うが。

総務部長 本市は、自治会を行政区としている。統合の意思決定権は行政区にあるため、自主性を尊重し、市は協

力を考えている。今後、玉名市区長会協議会や対象行政区と協議を進める。

議員 小岱山薬草の会への助成金の成果は。助成後の振興、普及、成果は。

企画経営部長 小岱山薬草の会は、「第2回ディスカバー農山漁村の宝」優良団体に選定されるなど市内外で高く評価され、観覧会、料理教室、いきいきふれあい活動、小中学校の出前講座など幅広い活動で普及に努めている。

議員 国際スポーツ大会キャンプ誘致は。推進室が設置され活動計画は。実行委員会の設置は。

教育部長 オリンピック組織委員会が作成するキャンプ候補地ガイド掲載のための条件整備を行っており、実行委員会は選手団のオフアールにもよるが開催年の2年前には設置したい。



▲鹿島実業高等学校レスリング部への研修

6月臨時会

平成28年第2回臨時会が6月2日開催された。専決処分事項6件については、各常任委員会に付託、審議され、第3回定例会までの継続審査となった。上告の提起及び上告受理の申し立てについては、討論を重ねた結果、賛成多数で可決した。固定資産評価員の選任については全員賛成で可決、承認した。

平成28年第2回 臨時会議案の審議結果

■全会一致で可決した議案

議番号	議 案 名
議第55号	固定資産評価員の選任について

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議案		北本将幸(無会派)	多田限啓二(無会派)	松本憲二(自友会)	徳村登志郎(公明党)	城戸淳(新生会)	西川裕文(新生会)	嶋村徹(市民会)	内田靖信(自友会)	江田計司(無会派)	田中英雄(市民会)	横手良弘(市民会)	近松恵美子(無会派)	福嶋譲治(無会派)	宮田知美(市民会)	前田正治(共産党)	作本幸男(新生会)	森川和博(第2市民会)	高村四郎(自友会)	中尾嘉男(無会派)	田畑ひさよし(第2市民会)	小屋野幸隆(第2市民会)	竹下幸治(市民会)	吉田幸とく(第2市民会)	永野忠弘(自友会)	議決結果
議第54号	※1 上告の提起及び上告受理の申立てについて	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛13、反10)

※1…地裁と高裁で判断が分かれた判決に対して最高裁の判断を仰ぐ申し立て。

※市民会…市民クラブ/新生会…新生クラブ/自友会…自友クラブ/第2市民会…第2市民クラブ/無党派…無党派

■継続審査となった議案

議番号	議 案 名	議 案 名	議番号
議第48号	専決処分事項の承認について 平成27年度玉名市一般会計補正予算(第7号)	専決第3号	議第51号
議第49号	専決処分事項の承認について 玉名市税条例等の一部を改正する条例の制定について	専決第4号	議第52号
議第50号	専決処分事項の承認について 玉名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	専決第5号	議第53号
			専決第6号 玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
			専決第8号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第1号)(熊本地震関連予算)
			専決第9号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第2号)(熊本地震関連予算)

人 事

固定資産評価員の選任について同意しました。(敬称略)

★固定資産評価員

いとなが やすとし
・糸永 安利(市税務課長〔充て職〕)

議第54号 上告の提起及び上告受理の申し立てについての討論【原案可決】

原案賛成

横手良弘議員

日本の裁判で、民事、刑事事件の判例を見ると、過去の判例が前提になってその後のいろいろな裁判に反映されると思う。このことから1審と2審で違う判決が出ており、ちゃんとした判決を望むため、3審まで行くのが当然である。

原案賛成

田畑ひさよし議員

この議案に対して反対する理由が考えつかない。また、熊本地裁、福岡高裁、それぞれの判断は違う。これを仰ぐのはやはり最高裁の場合しかない。最高裁ではっきりした判断を仰ぐのが、常識と思う。

原案反対

前田正治議員

最高裁上告なら高裁判決を覆す内規の非公開は入札適正化法に違反しないことや、内規の運用でその結果が内規の運用目的に反していないことを議会で説明することが必要だが、議会への説明を十分果たしているとは言えない。

原案賛成

吉田幸とく議員

民事はそもそも、デリケートである。地裁は地域に密着した裁判と思う。最高裁に上告するのは市は市として専門家や弁護士に相談した上での事と確信する。高裁の判決が納得がいけないならば最終的に最高裁で決着することが望ましいと思う。市民の意見も高裁の判決は不満も多いと信じる。

原案反対

江田計司議員

熊本地裁での判決を不服として福岡高裁に上告。福岡高裁での判断は工事の指名を排除したのは裁量権を逸脱または濫用したものであり、高寄市長には少なくとも違法行為があったと判断し、玉名市が敗訴。この地震による非常事態を理由に、上告を断念したらどうか。

原案反対

福嶋譲治議員

福岡高裁の判決では指名審査内規の存在を疑問視している。公表義務に反し、公正性及び透明性確保の要請にも違背するとも断じている。判決を真摯に受けとめ、粛々と裁判の結果を受け入れるべきである。上告に反対である。

熊本地震を教訓に災害に強い公共施設の計画見直しを求める

公共施設等建設特別

平成28年5月30日・6月6日午前10時から開催

Q、公共施設等総合管理計画において、施設改修等の順番づけはどのようになっているか。

A、今後40年間、施設の劣化度や重要度、コストパフォーマンス度といった視点で保全優先度を設定し、長寿命化のための工事に取り組む。

Q、岱明町公民館建設は岱明ふれあい健康センターと一部共用し、併設して建設する案が有力とのことだが、地震等災害時の避難場所としても駐車場は不足しないか。

A、砂利敷き駐車場一帯に別途駐車場を設ける。市道を延伸してB&G海洋センターとの相互利用等周辺の一体的な整備を検討している。

Q、併設案での岱明公民館の面積は。

A、講堂等の共用により700平方メートル程度と考える。

Q、旧庁舎の解体工事は、分割発注でできなかったか。

A、解体設計の段階から分割発注は考えていない。費用面と短期間の工事で連絡調整が不要となる点、責任の所在が不明確にならない点から一括発注とした。南側の

別館から解体し、本庁舎は9月後半以降の予定で年内に完了。

Q、市民会館建設で免震構造にした場合の費用は。免震構造にできないか。

A、免震構造は、建設費で4〜5%の増額となり、その後の免震設備の維持管理費用が発生する。実施設計の段階で検討する。

Q、市民会館建設予定地である市民広場は、今回の地震で避難者の駐車場として多くの利用があったが、災害時の駐車・避難場所として必要ではないか。

A、現市民会館跡地を駐車場として整備することで、駐車台数の確保は十分可能。

Q、サッカー場の建設予定地は、津波等災害時の避難場所としてどうか。防災面からも候補地を再検討すべきでは。

A、予定地は、地上高11メートルあり津波等の避難場所に成り得る。防災面からの整備も検討する。

議会へ頂いたご意見の紹介

市議会では、議会を傍聴された方々から、ご感想をお聞きするために、御意見箱を設置しています。

次の方から御意見をお寄せいただきました。

玉名市三ツ川在住 69才

『市民会館大ホール建設位置について』

3月議会で市民会館建設位置が、市民広場公園に議決されたので驚いた。
また現在の市民会館跡地に市民広場を作る計画だが、今の市民会館跡地が持つ機能（いやしの空間など）を代替することはできない。
4月に発生した熊本地震の際の利用状況から、市民広場公園はそのまま残し、市民会館は現在地に建て直すことが最善と考える。
2度の大地震を契機に再議論されることを望む。

全国市議会議長会から表彰

全国市議会議長会総会において、議員15年以上の永年勤続表彰として中尾嘉男議員に、議員10年以上の永年勤続表彰として内田靖信議員、江田計司議員に表彰状が贈呈されました。
また、全国市議会議長会地方行政委員会委員を務めた作本幸男前議長、永野忠弘議長に感謝状が贈呈されました。



6月定例会（6月20日）に、議場で伝達を行いました。

本会議・委員会の傍聴・視聴を!!

定例会、臨時会とはどなたでも傍聴できます。3常任委員会（総務・建設経済・文教厚生）、特別委員会についても、各委員長の許可を得て傍聴することが出来ます。

各議員の活発な意見や執行部の考え、方向性が聞けると思っています。ぜひおいで下さい!!
また、現在、定例会・臨時会の本会議や3常任委員会の会議状況を、市役所1階ロビーや各支所でも放映していますし、インターネット、ひまわりテレビでも放映しています。

9月定例会予定

8月26日	金曜	議会運営委員会
9月2日	金曜	定例会開会
12日	月曜	一般質問
13日	火曜	一般質問
14日	水曜	一般質問
15日	木曜	総務委員会
16日	金曜	建設経済委員会
20日	火曜	文教厚生委員会
27日	火曜	採決 定例会閉会

※都合により変更になることがあります。

今回は地域の皆さんのために、民生委員として活動されている4名の方に「活動を通して思うこと」というテーマで「地域の方々との交流の大切さ、そして活動を通じての喜び」等のお声をいただきました。お忙しい中に、ご協力いただきました皆さま本当にありがとうございました。

活動を通して思うこと



玉名地区 山下 敏子
やまし た とし こ

私は民生委員3年目です。高齢者の相談相手になったり、行政と高齢者をつなぐ役割をしてきました。高齢者の方々は日々の生活の中で心細さを抱いている方が多い

くいる事が分かりました。だからこそ、地域の人達とのつながりが必要だと考えました。熊本地震では、すぐに一人暮らしの方の安否を確認しました。皆さん怪我もなく無事でしたのでほっとしました。声かけのおかげで安心したといわれたことにやって良かったと思います。今後は地域や福祉の事をもっと勉強して少しでも人々が安心して生活できるようにお手伝いできたらと思います。

地域に笑顔を



横島地区 鎌田 末雄
かまた すえ お

私の住む干拓地区は東に金峰山、南に有明海を望む自然豊かな地域です。各農家は4haの面積を持ち、いちご、トマト、ミニトマトの施設園芸、酪農、タバコ栽培等の大規模経営が進んで海外

からの研修生が多く仕事に頑張っています。先日地域の運動公園でスパイクを履いてサツカーをするので、グラントゴルフの方から「使用禁止」を言われたと相談がありました。仲介に入り約半分使用することが許され、皆喜び笑顔になったことが良かった。グラントゴルフの方々の大きな心と思いやりに感謝し、これからも笑顔で暮らせる地域づくりに頑張りたい。

活動を通して思うこと



岱明地区 松本 正廣
まつ もと まさひろ

任期は、充実の日々でした。残り5ヶ月となった委員として、多くの方々との出逢いを通じて、人生の貴重な体験をする事ができました。特に後の2期は、岱明町民児協の代

3期(9年)の民生委員活動に思う

表として、市全体の福祉計画に参画し、民生委員信条にある「明朗で健全な地域社会づくり」に努めました。勿論悲しい事や苦しい時期もありましたが、苦難を乗り越えての喜びは、また格別でした。今年の12月が一斉改選です。候補に挙がった方は、折角の好期を活かして欲しいと思います。活動での汗と涙がきつと、地域の人々の安心安全と、貴方自身の幸せに繋がると信じるからです。

活動を通して思うこと



天水地区 徳永 誠也
とく なが せい や

民生委員になってよかったと思います。介護予防の「いきいきサロン」では、高齢者の方と歌やゲームや体操をして過ごします。「親子ふれあい・案山子づくり」では、

先生や児童や地域の方と親しくなります。「見回り活動」では、世間話をしたり大声で笑ったりすると腰痛も忘れます。「オシャベリは元気の素・認知症予防の特効薬！」

民生委員協議会には悩みもあります。3年の任期中に老人会副会長や区長になる委員もいます。区長は民生委員探しに、老人会長は後継ぎに苦労されます。3者の連携を深め、互いの充実につな

編集後記

4月、熊本は未曾有の大地震に見舞われた。いまだに避難所暮らしの生活は続いている。市民ボランティアのネットワークに参加しているが、東日本大震災で避難してきた人が再び災害に遭われたという。今まで多くの自然災害に見舞われているが、なかなかその経験を生かし切れていない現状を目の当たりにした。このような中、先月参議院選挙が行なわれた。今後国が復興に向け、どのような政策を立ていくのかが重要になる。玉名市議会としてもできることをしっかりと探して取り組んでいきたい。

議会報編集委員会

委員 北本 将幸

☆表紙の題字

「市議会だより」は、



玉水小学校6年

佐々木 晃誠 さんの作品です。

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!